

誰もが暮らしやすいまちへ

8月に千葉県で「ヘルプカード」が導入されました。今号では、ヘルプカードについてお知らせするとともに、外見からは支援や配慮を必要とすることが分かりにくい障がいの一つである、発達障がいについて考えます。

知っていますか ヘルプカード

ヘルプカードは、義足などを使用している人、内部障がいのある人、難病の人、妊娠初期の人、認知症の人など、外見からは支援や配慮を必要としていることが分かりにくい人が、周囲の人に支援を必要としていることを知らせるためのカードです(下図)。

住所や連絡先、手助けしてほしいことなどの必要な情報を書いて、財布に入れたり、ケースに入れてかばんの外に取り付けたりして、普段から携帯します。

このカードを携帯している人を見掛けたら、声を掛け、必要な支援を尋ねるなどの配慮をお願いします。



発達障がいは

外見からは支援や配慮を必要と

なお、ヘルプカードは、次の場
所で配布しています。

配布場所 障がい者福祉課(市役
所議会議棟1階)、下総・大栄支
所、ほっとすまいるセンター(保
健福祉館内)

していることが分かりにくい障がい
の一つとして、発達障がいがあ
ります。

発達障がいのある人の中には、
知的障がいを伴う人と伴わない人、
他人との関係づくりやコミュニ
ケーションが苦手な人がいます。
親のしつけや教育の問題と誤解さ
れ、その行動や態度から「自分勝
手」「変わった人」「困った人」と評
価されてしまうことも少なくあり
ません。

一方で、特定の分野で優れた能
力を発揮する場合もあり、周りか
ら見てアンバランスな様子が理解
されにくい障がいです。

発達障害者支援法では、発達障
がいや「自閉症、アスペルガー症
候群その他の広汎性発達障害、学
習障害、注意欠陥多動性障害その

他これに類する脳機能の障害で
あって、その症状が通常低年齢に
おいて発現するもの」と定義して
います。
3ページではこれらの主な特性
を紹介します。

気軽に相談を

発達障がいと診断を受ける人の
数は年々増加しています。

文部科学省が公表した平成28年
度特別支援教育資料によれば、生
徒数998万769人のうち、発
達障がいにより小中学校の特別支
援学級に在籍する生徒数は9万9
971人、普通学級に在籍しなが
ら特別支援学級も利用している生
徒数は4万7、305人に上りま
す。また、成人して社会に出てか
ら診断を受ける人も増えていま
す。ただし、どのような診断名で
あったかよりも、その人がどのよ
うなことができて、何が苦手なの
か、どのような魅力があるのか、
といったその人自身に目を向ける
ことが重要です。個々の能力を伸

ばし、本来持っている力を発揮し
ていくためには、子どものうちか
らの「気付き」と「適切なサポー
ト」、そして発達障がいに対する
私たち一人一人の理解が必要です。
「うちの子は発達障がいなのだ
ろうか」など気になることがある
ときは、医療機関や次の相談窓口
に相談してください。

全般的な相談

障がい者福祉課

電話 20・1539

FAX 24・2367

健康増進課

電話 27・1111

FAX 27・1114

ほっとすまいるセンター(保健福
祉館内)

障がいについての相談のほか、
日常生活で気掛かりになってい
ることなど、さまざまな相談に応じ
ています。

電話 27・1106

FAX 27・1065

発達障害者支援センター

保健・医療・福祉・教育・労働
などの関係機関と連携し、地域に
おける総合的な支援ネットワーク
を構築しながら、さまざまな相談
に応じています。

電話 043・227・8557

幼児期・学齢期の相談

こども発達支援センター

発達に遅れや障がいのある子どもと保護者のための通所支援事業を実施しています。また、子どもの発達に関するさまざまな相談に応じています。

電話 26-9918

FAX 26-9917

教育センター

就学中の子どもについての相談に応じています。

電話 20-2922

FAX 20-1766

就労に関する相談

ハローワーク成田

電話 27-8609

FAX 27-1532

障害者就業・生活支援センター

障がいの者の職業的自立を実現するため、就職面の支援と生活面の支援を一体的に行います。

電話 FAX 29-1003

当事者会・家族会

印旛地区自閉症協会成田部会

電話 FAX 26-6319

成田市ことばと心を育む親の会

電話 FAX 23-0646

※くわしくは障がい福祉課(20-1555)へ。

それぞれの障がいの特性

広汎性発達障がい

広汎性発達障がいは、コミュニケーション能力や社会性に関連する脳の領域に関係する発達障がいの総称です。

慣れた場所では優れた集中力を発揮したり、関心のあることに対して専門家顔負けの知識を持ったりします。一方で、周囲との距離感、その場に合った言葉を選ぶことや、周囲の変化に応じて対応することが苦手など、さまざまな領域における能力に著しいばらつきがあるのが特徴です。その特性に合わせて、「自閉症」や「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」などといわれます。

しかし、成長とともに症状の現れ方が変化することがあるため、これら全てを「自閉症スペクトラム障がい」というひとくくりで捉える考え方もあります。



アスペルガー症候群

- 基本的に言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、興味・関心の偏り
- 不器用(言語発達に比べて)

自閉症

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

知的発達の遅れを伴うこともあります

発達障がい

学習障がい

○読む・書く・計算するなどの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

学習障がいは、知的発達に遅れはないのに、聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなど、特定のこののみが著しく困難になる状態をいいます。

誰しも得意・不得意はあるため、その症状は親も含めて気づきにくく、叱られたり、無理な努力を強いられたりしてしまうことがあります。一方、代替手段を身に付けることで社会生活や学校生活を送りやすくすることができます。



注意欠陥多動性障がい

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

注意欠陥多動性障がいは、不注意や、衝動的で落ち着きがないといった面を自身ではコントロールすることが難しい障がいです。

大事な仕事の予定を忘れる、大切な書類を置き忘れるなど、周囲の人から「何回言っても忘れてしまう人」と思われてしまうことがあります。一方、周囲の変化に敏感な特性のため、例えば困っている人にいち早く気づき手助けできる人もいます。

